

インポート操作方法

※ インポートを行う場合、事前にインポートするオブジェクトを手動で削除しておく必要があります。

データのインポートを行うには、

EMDC → [データ移行] タブ → 行データの移動・セクション中の「エクスポート・ファイルからのインポート」

[データ移行] タブ／

行データの移動

エクスポート・ファイルからのインポート



エクスポート：ファイル

続行

ファイル

ディレクトリ・オブジェクト

ファイル名

LOG_DILE_DIR

EXPDAT8%U.dmp

行の追加

%U はワイルドカードの意味

インポートタイプ

☐ ファイル全体

☒ スキーマ

☐ 表

☐ 表領域

ホスト資格証明

OSユーザー名とパスワード

ユーザー名

Administrator

パスワード

.....



続行 ボタンをクリックすることにより、エクスポート・ファイルの仮読込みが行われ、中のメンバー情報（スキーマ名、表名）などが調査されます。 ステップ 1／5

インポートの対象を選択します

インポート：スキーマ

1/5 [次へ](#)

[追加](#)

☐ USER1

※ [追加](#) ボタンをクリックして、対象スキーマを追加します



インポート：再マッピング

2/5 [次へ](#)

[行の追加](#)

※ データを別のスキーマや別の表領域に、インポートさせることも出来ます



インポート：オプション

3/5 [次へ](#)

※ インポート処理のログを出力することが可能です



インポート：スケジュール

4/5 [次へ](#)

※ インポート処理のログを出力することが可能です



インポート：スケジュール

5/5 [ジョブの発行](#)

PL/SQL のソースコードが表示される

※ [ジョブ発行](#) ボタンをクリックするとインポート処理のタスクがスケジュールされます